



フェラ看病のお返しは
連続種付けマ
キングでした



これだけ上手にできれば
試作はもう十分じゃない？

毎週つくってる
よね…

まだまだだよ！
今度のソウちゃん
の誕生日は
最高に
おいしい
パンケーキ
を
プレゼント
するんだから！

「手作り料理が食べてみたい」と言ったら、まさかこんな大事になるとは…

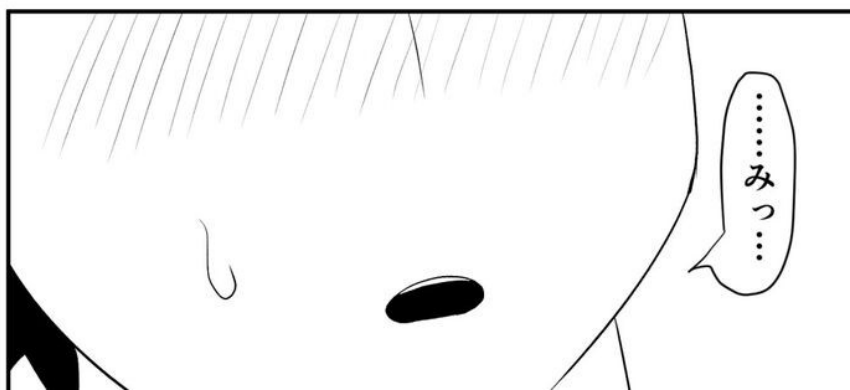
美咲は人に何かをしてあげることが好きなどにかく優しい良い子だ

ん
イマイチ生地が
ふんわりしない
だよな…

粉かえ
みよっかな…

ただ、頼まれると断れなかったり
今回みたいに頑張りすぎてしまうのが
たまにキズだけど…

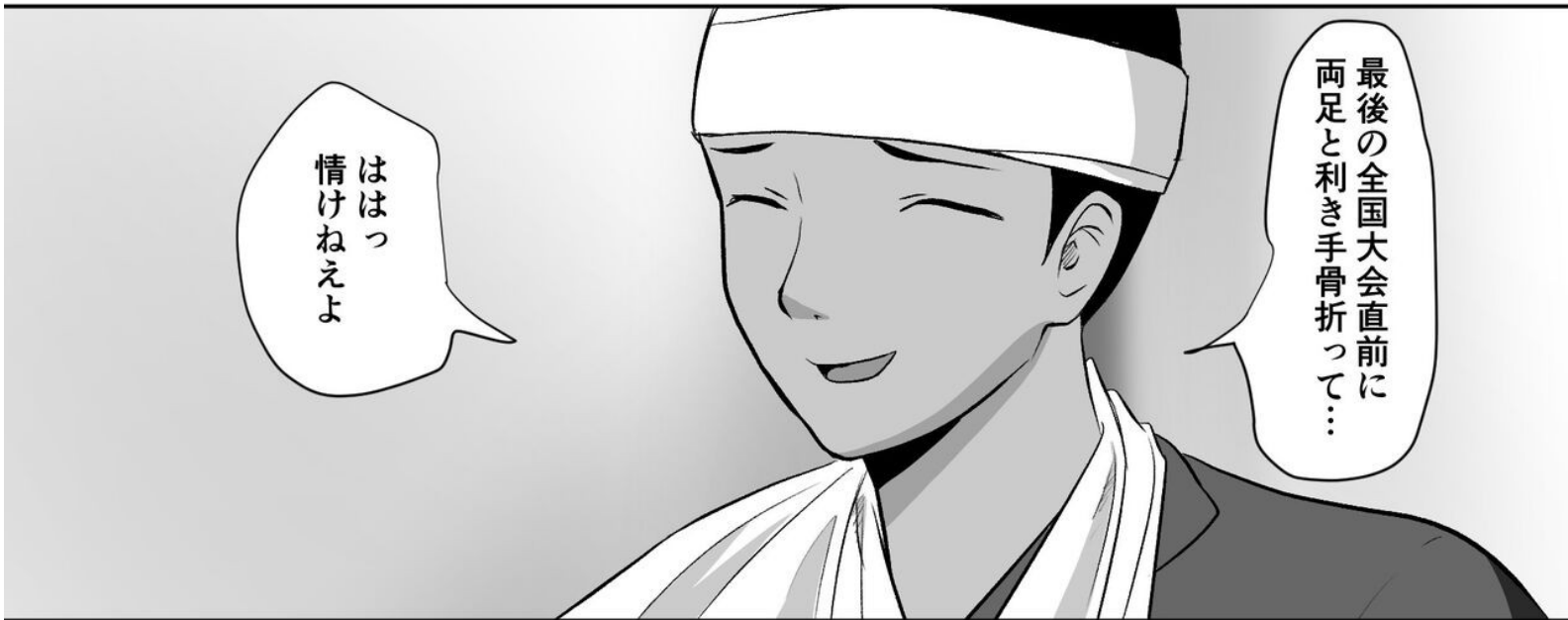
あっ



——「もう一人」の幼馴染の
悲報は飛び込んできた



信号無視した車が突っ込んできて
気が付いたらこのザマさ…



最後の全国大会直前に
両足と利き手骨折って…

ははっ
情けねえよ



菜穂さんはお見舞い
きてくれたの？

そういえば、彼女さんは…

ダイちゃんは
何も悪くないよ！

そんな…





——実はさ

え？

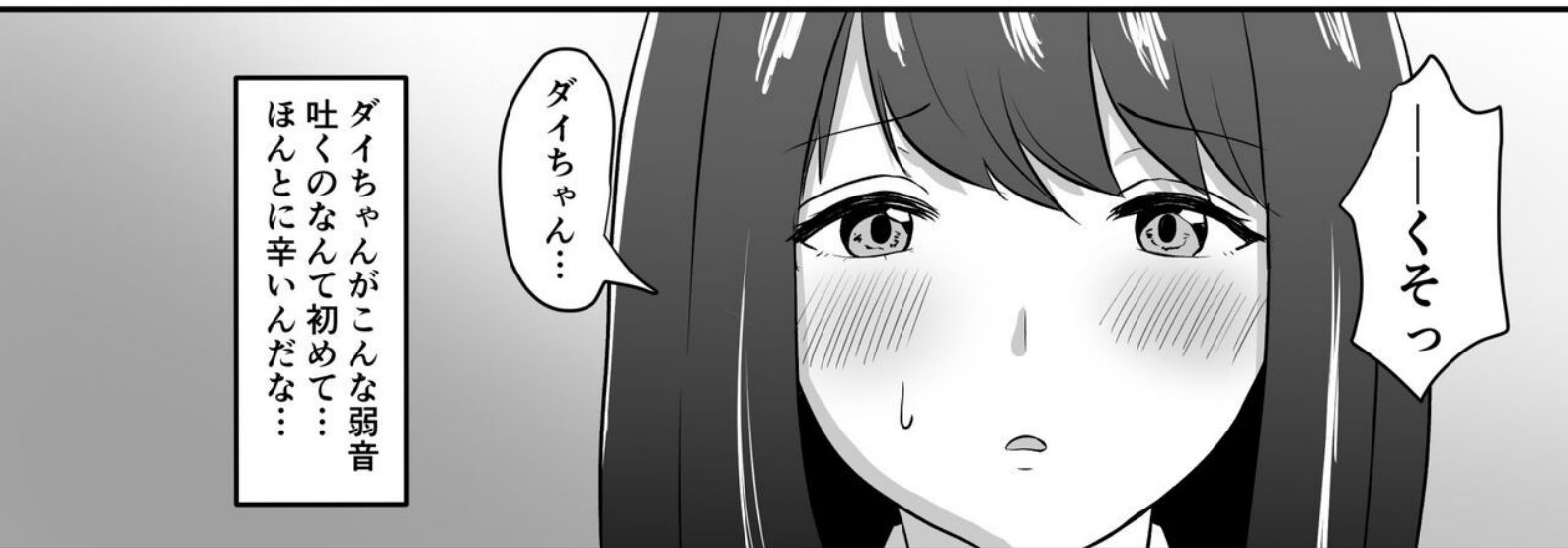
菜穂とはもう
別れたんだ

悪い…

颯太のいる前だと
なんだか言いづらくてさ…

事故にあうちよつと前に
ささいなことでも
ケンカしちゃって…

そんな…





辛いよねダイちゃん…

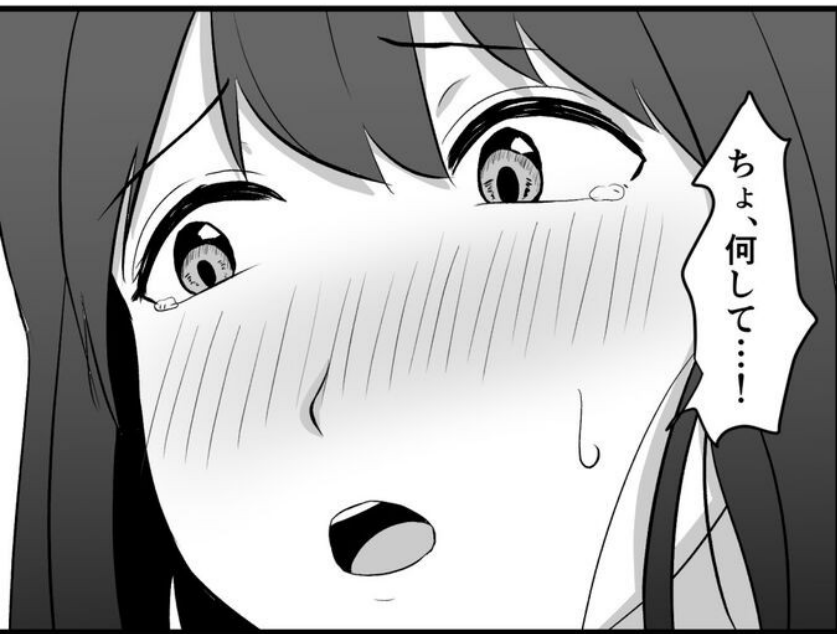
…っ

あたしにできること
あつたらなんでも言つてね…



しんどいよお！

生きるのつてこんな
辛いのかよお！



ちょ、何して…！



じゃあ…
俺を癒してくれ

すっ…



美咲い…俺寂しいんだよ…
人肌恋しいんだよ…

今日だけでいいから…
せめて今日だけ慰めてくれないか？

そ、それはさすがにダメだよ…！
あたしはソウちゃんと…



もちろんわかってる…!

じゃあせめて…せめて
処理だけでもしてくれないか?

手が不自由で…その…
辛いんだよ、本当に…!

処理って…ダイちゃん…
だからそういうことは

頼むよ美咲!



お前しか…
頼れないんだ…!



…





ソウちゃんの倍近くあるんじゃないかな？
運動部だからかな？

おちんちんってこんなに
大きい人もいるんだ…



うっ



ーって…
なに比較してんのあたし！

へろっ♡



それに…

蒸れててすごい男臭い…

れろっ♡



仕方ないけどきつと
お風呂入れてないんだらうな…





ああ：溜まってたから
もう出そうだ…

んえ？

ちゅぷん♡

ちゅぷん♡

で、でるうー！



ひゅるるる♡

あっ



んすごい量…

お口の中ゼリー状の熱くて
濃いやつでいっぱい…

ちゅぷん♡

ちゅ♡

ちゅ♡



こんなに食べたの初めてだ...


すげえ気持ちよかったよ...



サンキュー
もう飲んでいいよ

帰りに...

しんん



——部屋を訪れた時とは対照的に
ダイちゃんはずごく
満足そうな顔をしていた

これで少しでも気が晴れたなら
よかったなと思いつつも
私は味わったことのない
背徳感に支配された

もう終わったことだから
忘れてしまおう…
そう思いながら家路についた

でも…
これで終わり
なんかじゃなかった



その後もお見舞いに行く度に
結局うまく言いくるめられて
「処理」をさせられた

ソウちゃんには引き続き
菜穂さんのことで相談に
乗っているということにしている

本気になれば
断ったり逃げ出すことは
できるはずなのに

ソウちゃんへの罪悪感を感じながらも
あたしはなぜかこの秘密の関係を続けてしまっていた





でも…
それだけなのかな…

ダイちゃんのことを心の底から
かわいそうだと…
幼馴染として慰めてあげたいと
思ったことは事実だ



最近元気ないぞ…？

もし困ってることあるなら
なんでも言いなよ？



美咲？

え？

それだけが理由で
私は彼氏を差し置いてあんな
イケナイことをしているのかな



わしや…

美咲のためなら僕
なんでもするからさ



ありがとう…
大丈夫だよ

やっぱりだめだ…

もう終わりにしないと

え？



さすがにソウちゃんにも
顔向けできないし

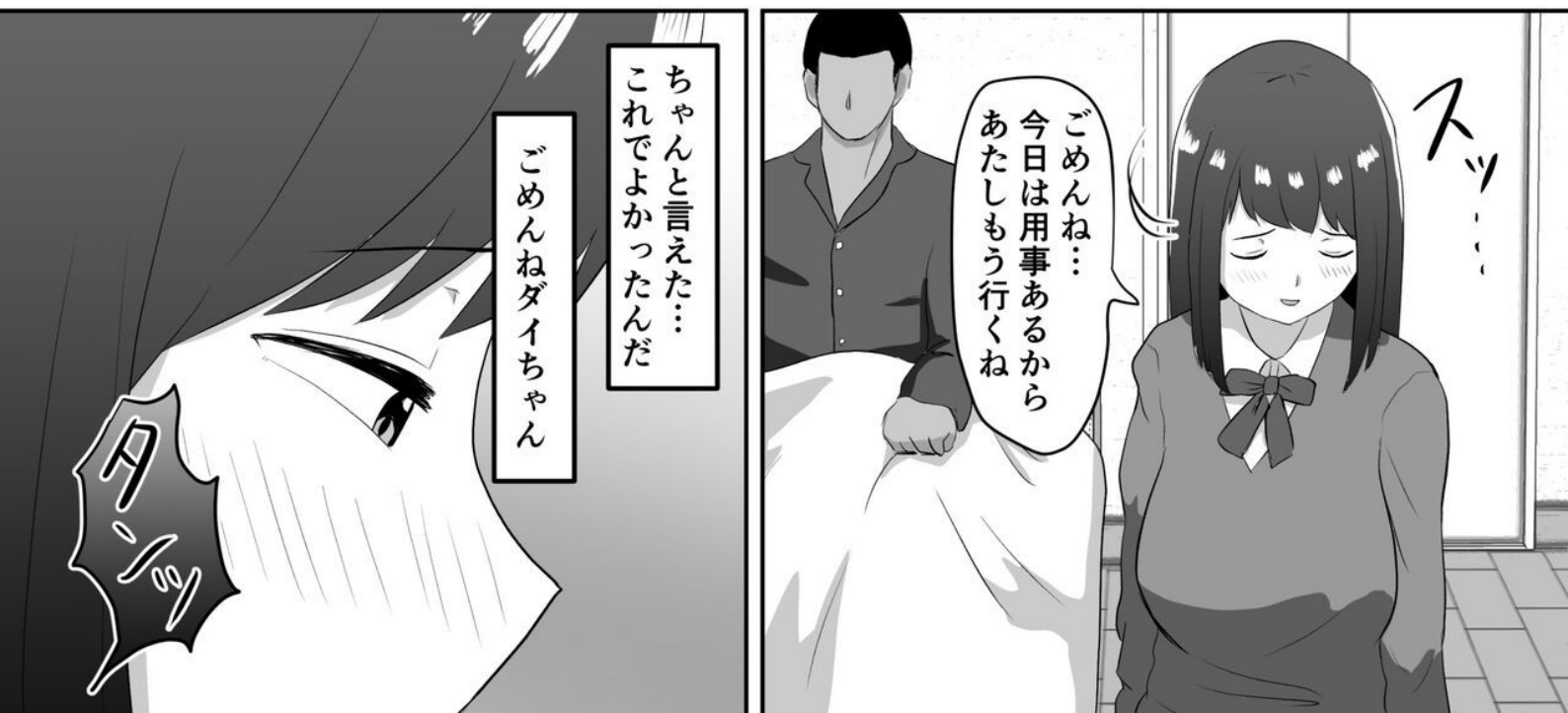
ダイちゃんもリハビリだ**い**ぶ
進んできたんだしもう自分で
できるでしょ？

そんな…



待ってくれ美咲！

ダイちゃんとも
ソウちゃんとも…
ずっと仲良しでいたいの



ごめんね…
今日は用事あるから
あたしもう行くね

ちゃんと言えた…
これでよかったんだ

ごめんねダイちゃん

フッ…



きゃっ！

？

ト

ザッ



俺やっぱ
お前のこと好きだ！

美咲！

がっ



な、何言って…
ていうかそんな動いちや—

ごめん
実はちょっと前に
ほぼ完治してるんだ

いきなり好きだ
なんて言われても…

俺が告ろうとした矢先
颯太に先をこされちまった…

菜穂と付き合っても
未練は消えなかった—



ぴちゃっ

あ！
やめ—



どうしようもなく
お前が好きなんだよ！

すすっ



なんだよ…
美咲もちょっと濡れてんじゃん

なんで？
あたし…

美咲

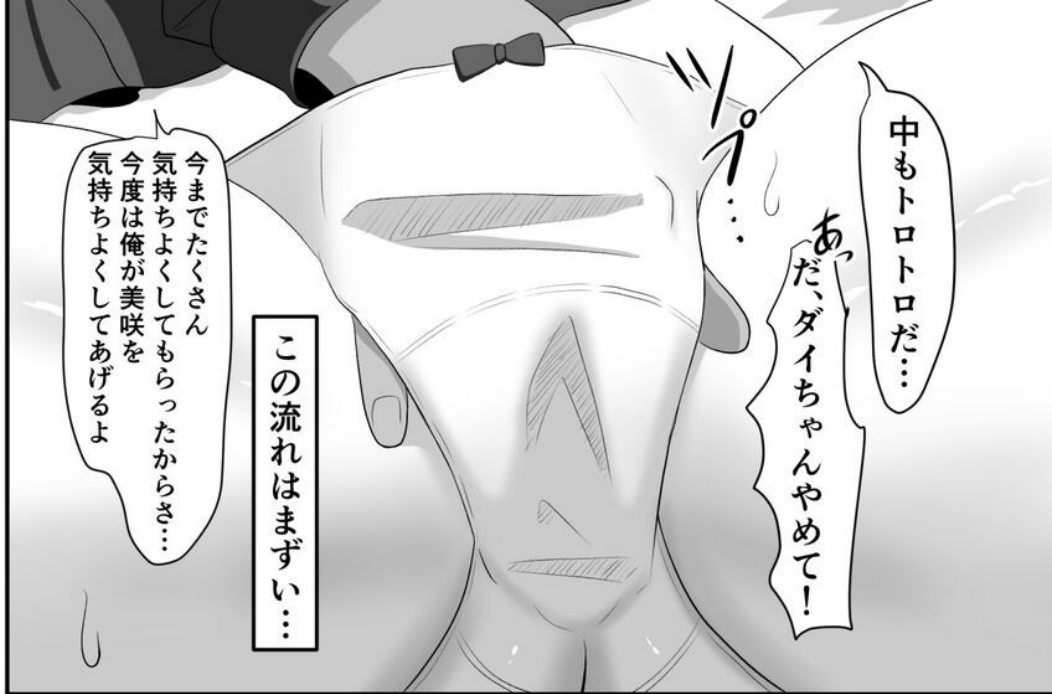


え？



あたしは……

とにかく流されちゃダメだ！



中もトロトロだ……

あ、だ、ダイちゃんやめて！

この流れはまずい……

今までたくさん
気持ちよくしてもらったからさ……
今度は俺が美咲を
気持ちよくしてあげるよ



あたしは
ソウちゃんの彼女なんだ！

やめないと……
お、お……怒るよ！



美咲……

数十分後

結局——

力でダイちゃんにかなうはずもなく
拘束された私は延々とねちっこい愛撫を受け続けた

そうそう…
力抜いて
おまんこ集中して…

はじめのうちは抵抗していたが
アソコを深く、ゆっくりと刺激されて力が抜け
なすすべもなくただ感じることにしかできなかった





——もう何度も
イカされていた

はあ...あ...
はあ...あ...
はあ...あ...



まるで私の感じる場所と間隔を
知り尽くしているかのように
正確に押し上げてきて——



美咲おとなしくなったね...
イクのよっぽど
気持ちいいんだね？

イってなんか...
ない...もん

男と違って女の子は
イケばイクほどエッチ
したくなるらしいね...

はあ...
はあ...



ふいに♡

これ

もう欲しくて
たまらないでしょ？

だ、だめ...
それだけは本当に
お願いだから...

もう上の口には十分
味がすりこまれてる
だろうからさ...

ぬる

ぬる



今度は下の口に...

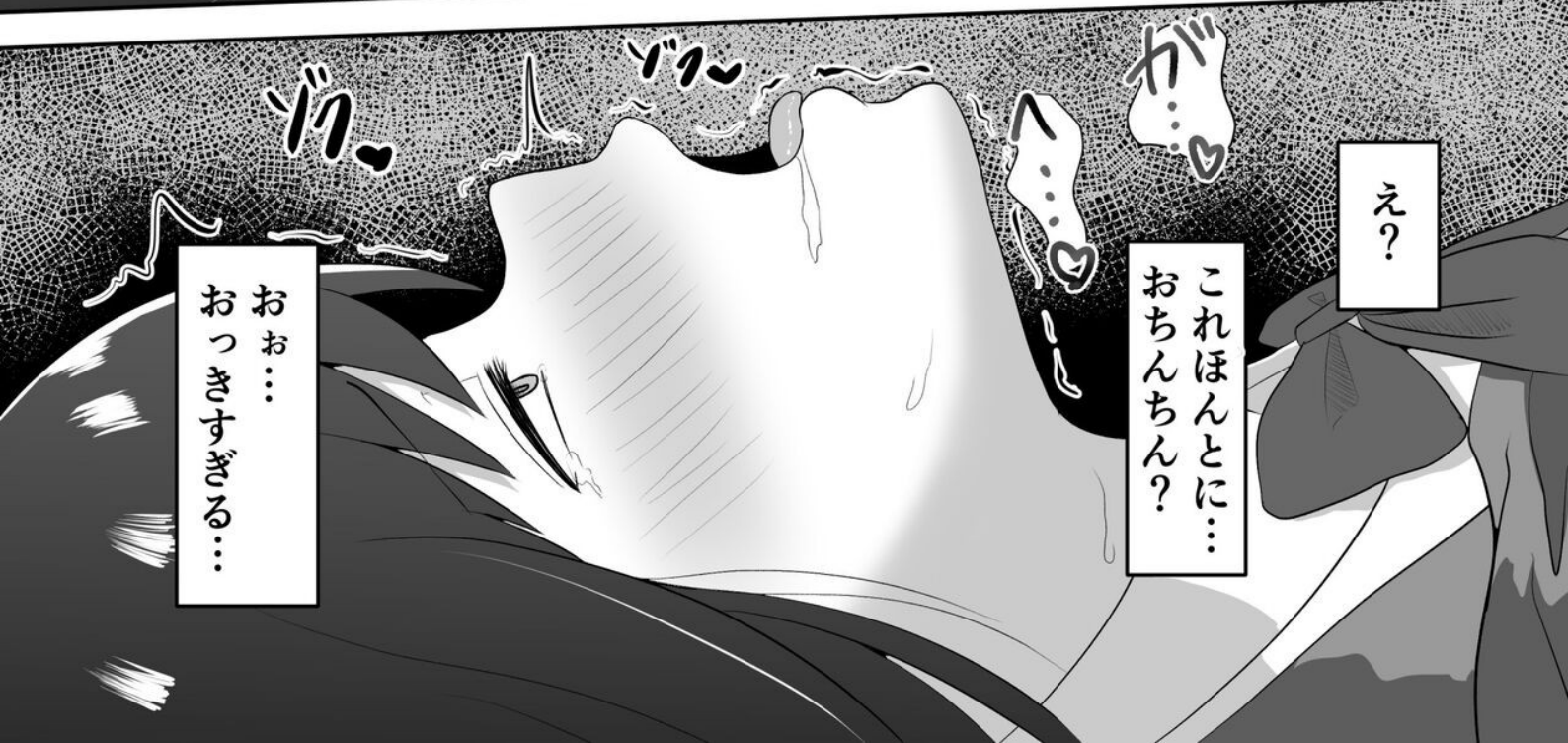
や、やめ...

ぬ

ん♡

め♡

ん♡



え？

これほんとに...
おちんちん？

おお...
おつきすがる...

が♡

が♡

が♡

しっかりほぐしたから
一気に奥まで入ったね

寝取られおまんこのくせに
しっかりまとわりついてきて
サイコーだ！

たまんねーよ美咲！

ソウちゃん以外の人に
犯されるなんて…
い、嫌なはずなのに…

ぬ
ちゅ♡

ぬ
ちゅ♡

おっきいおちんちんに
お腹の中力強く突かれて…

気持ち…いい…？

へ？



なにそこ!!
知らない!

衝撃の逃げ場も
なくなるから
もっと気持ちいいよ

こうして頭を
固定すると
もっと深く突けて

ストキョッ♡
ストキョッ♡



すぐイっちゃうでしょ?
はい美咲ちゃんイキます
3、2、1...

だめ...
こんなの
されたら...

ぐいゅっ♡
ぐりゅっ♡



はいイったあw

あがあま

ぐわっ♡
ぐわっ♡

ぐわっ♡

もしもし...

あ、美咲？
もう駅前
着いてるけど
いまどこ？

ごめんね遅れて...

もうすぐいくかー

ばちゅん

ら!?

「今日はいけない」って
言うんだよ



美咲？
なんか息あらいけど
大丈夫？

ごめんね…
ちよつと体調悪くて…
行けそうにないの

マジで!?
じゃあ今からお見舞い行くよ
家だよな？

ううん、大丈夫…
多分寝れば治るから

あーやべ、出る…
このまま出すわ

え？
ちよ、絶対だめだから

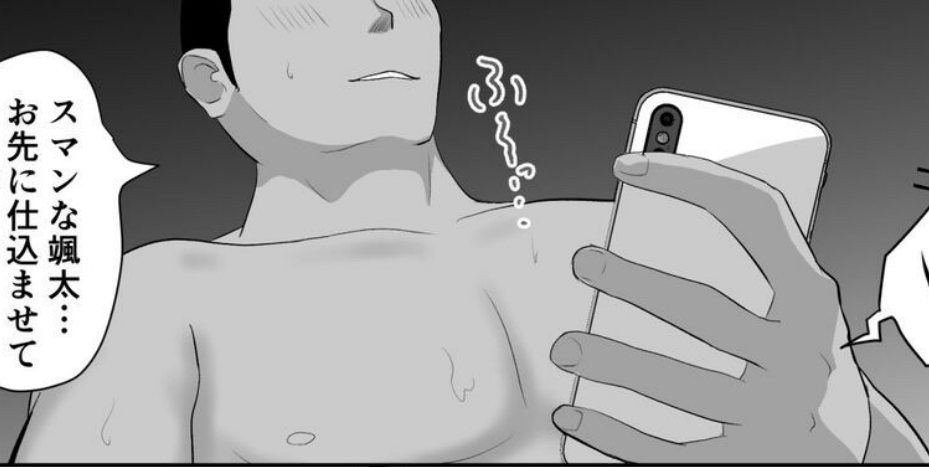
え？

う、ううん！
なんでもな—

ああ！

はちゅっ♡
はちゅっ♡

スマンな颯太…
お先に仕込ませて
もらったわ



美咲？
大丈夫？
美咲

ははっ
彼の声聞きながら
他の男の精子
流し込まれるの
そんなに
気持ちよかった？



ひどいよ…
中で出すなんて…

美咲もナカでイってたから
おあいこじゃん？

じゃあ「用事」もなくなった
ことだし、続きしよっか？

今日、親父たち朝まで
帰ってこないからさ…



お願い…

ソウちゃん…
あたし種付けされちゃった…
ごめんね…ソウちゃん…

もう…許して…



その後も自分の知らない
色んな体勢で犯された

たくさんマーキングして
カブくで美咲を俺のものに
してあげるからね

こんなことで…
ダイちゃんのものに
なんかならない



颯太じゃここまで
馬力ないっしょ？

そんなこと…ない

厚い胸板に包み込まれ
大きいおちんちんで力強く
突かれつづけて…
こんなに野性的なセックスが
あるんだと分からされた



これが欲しくて看病
してくれたんだもんなんー？
颯太のより大きいって
期待してたんだろ？

ちがう！
ちがう！

でも決して乱暴なだけではなく
ちゃんと私が気持ちよく
なるように攻めてくる



そこに押し付けるのが
お気に入りなんだねーw
いいよ、好きなだけイキな

気づけば自分で腰を振っていた…
あまりの快感に、ソウちゃんへの
罪恶感を忘れてしまっそうになる

から
いいいいってな…い

ポ
ビュッ

あー♡
あー♡
あー♡

ぽちゅっ♡

ぽちゅっ♡

ぽちゅっ♡

あー♡

あー♡
あー♡

ぽちゅっ♡



びゅるっ♡
びゅるっ♡

喉奥を突かれる感覚すら快感に思えた…
意識が朦朧として身体はとけて
もう「気持ちいい」意外の感情は
感じられなくなった



いつてるくせに嘘ばっかつく
悪い喉マンコはおしおきだ！

気持ちよくしてもらってる
チンポにごめんなさいしろ！

ガポッ♡

ガポッ♡

ガポッ♡

ゴポッ♡



びゅん♡
びゅん♡



い、いいいいッてるう！
ずっとイッてるから！
ごしごしもうだめ
ごめんなさいいいい！

トキョ♡

トキョ♡

トキョ♡

ほらこれならどうだ！
認めるまでやめないぞ！

ひたすら子宮を突かれて
精液を流し込まれる…
その本能的な快感だけに
私の世界は支配されていった…

トキョ♡



ああ、気持ち
よかったあ…



相性抜群だわ俺たちの身体…

どう？
俺のものになる気になった？

グッ…♡

…あたしは…ソウちゃんの…
彼女…だから

健気だねえ…
あんだけイキ狂っというて
言う言葉でもないと思うけど…

まあいいさ
これだけ俺の味を
刷り込んだんだ…

寝返るのも時間の問題だろ

まだジンジンしているアソコの余韻と
心地よい疲労感の中
私は深い眠りへと堕ちていった…

[Empty text box]

[Empty text box]

[Empty text box]

きもち…
よかったな…

END

この度はお買い上げ並びに
最後までお読みいただき
ありがとうございました。

「看病」は男の子の夢……
ですよね！

他作品サンプルも同梱して
いますので、ぜひご覧ください。

今後もNTRを中心として活動していきます。

以下SNSでも活動していますので、
ぜひともフォローお願いします！
(進捗報告や二次創作等っております)

ありがとうございました。

twitter: @sora_paprika
pixiv: 16885829

2022.3.19
ソラ-ぱぷりか。

